

④スコアシート

配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体	建物全体 解説シート の採点結果	住居宿泊 解説シート の採点結果
		評価点	重み 係数	評価点	重み 係数			
0 建築物の環境品質・性能						3.8		
Q-1 室内環境			0.40			3.8		
1 音環境		3.4	0.15	-	-	3.4		
1.1 騒音		-	-	-	-			
1 1 1 騒音レベル		3.0	-	3.0	-		3.0	3.0
1 1 2 設備騒音対策		3.0	-	3.0	-		-	-
1.2 遮音		3.6	0.70	-	-			
1 2 1 開口部遮音性能		3.0	0.40	3.0	-		3.0	3.0
1 2 2 外壁遮音性能	遮音性能D-40	4.0	0.30	3.0	-		4.0	3.0
1 2 3 界床遮音性能 (軽量衝撃源)	遮音性能L-55	4.0	0.15	3.0	-		4.0	3.0
1 2 4 界床遮音性能 (重量衝撃源)	遮音性能L-55	4.0	0.15	3.0	-		4.0	3.0
1.3 吸音		3.0	0.30	3.0	-		3.0	3.0
2 温熱環境		3.6	0.35	-	-	3.6		
2.1 室温制御		4.2	0.50	-	-			
2 1 1 室温設定	室温の設定値を夏季26℃、冬季22℃としている。	5.0	0.60	3.0	-		5.0	3.0
2 1 2 負荷変動・追従制御性		3.0	-	3.0	-		3.0	
2 1 3 外皮性能		3.0	0.40	3.0	-		3.0	3.0
2 1 4 ソーン別制御性		3.0	-	3.0	-		3.0	
2 1 5 温度・湿度制御		3.0	-	3.0	-		3.0	3.0
2 1 6 個別制御		3.0	-	3.0	-		3.0	3.0
2 1 7 時間外空調		3.0	-	3.0	-		3.0	
2 1 8 監視システム		3.0	-	3.0	-		3.0	
2.2 湿度制御		3.0	0.20	3.0	-		3.0	3.0
2.3 空調方式		3.0	0.30	3.0	-		3.0	3.0
3 光・視環境		3.7	0.25	-	-	3.7		
3.1 昼光利用		3.4	0.30	-	-			
3 1 1 昼光率		3.0	0.60	3.0	-		3.0	3.0
3 1 2 方位別開口		3.0	-	3.0	-		3.0	
3 1 3 昼光利用設備	ライトウェル	4.0	0.40	3.0	-		4.0	3.0
3.2 グレア対策		5.0	0.30	-	-			
3 2 1 照明器具のグレア		3.0	-	3.0	-		3.0	3.0
3 2 2 昼光制御	全ての窓にブラインド設置・底有り	5.0	1.00	3.0	-		5.0	3.0
3.3 照度		3.0	0.15	-	-			
3 3 1 設計照度		3.0	1.00	3.0	-		3.0	3.0
3 3 2 照度均斉度		3.0	-	3.0	-		3.0	3.0
3.4 照明制御		3.0	0.25	3.0	-		3.0	3.0
4 空気質環境		4.3	0.25	-	-	4.3		
4.1 発生源対策		5.0	0.50	-	-			
4 1 1 化学物質汚染	ホルムアルデヒドF☆☆☆☆を内装の70%以上使用	5.0	1.00	3.0	-		5.0	3.0
4 1 2 鉱物繊維対策		3.0	-	3.0	-		3.0	3.0
4 1 3 ダニ・カビ等		3.0	-	3.0	-		3.0	3.0
4 1 4 レジオネラ対策		3.0	-	3.0	-		3.0	3.0
4.2 換気		3.3	0.30	-	-			
4 2 1 換気量	換気量を25m3/h・人としている。	4.0	0.33	3.0	-		4.0	3.0
4 2 2 自然換気性能		3.0	0.33	3.0	-		3.0	3.0
4 2 3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.33	3.0	-		3.0	3.0
4 2 4 給気・排気ダクト計画		3.0	-	3.0	-		3.0	3.0
4.3 運用管理		4.0	0.20	-	-			
4 3 1 CO ₂ の監視		3.0	0.50	-	-		3.0	
4 3 2 喫煙の制御	ビル全体を禁煙とする。	5.0	0.50	-	-		5.0	
Q-2 サービス性能			0.30			3.8		
1 機能性		4.0	0.40	-	-	4.0		
1.1 機能性・使いやすさ		4.0	0.60	-	-			
1 1 1 広さ・収納性		3.0	-	3.0	-		3.0	3.0
1 1 2 情報設備への建築・設備的対応		3.0	-	3.0	-		3.0	
1 1 3 バリアフリー計画	ハートビル法の基準を満たしている。	4.0	1.00	3.0	-		4.0	
1.2 心理性・快適性		4.0	0.40	-	-			
1 2 1 広さ感・景観		3.0	0.50	3.0	-		3.0	3.0
1 2 2 リフレッシュスペース		3.0	-	3.0	-		3.0	
1 2 3 内装計画	フローリングを共用部に用い、落ち着いた空間を演出。	5.0	0.50	3.0	-		5.0	3.0
2 耐用性・信頼性		3.8	0.31	-	-	3.8		
2.1 耐震・免震		3.8	0.48	-	-			
2 1 1 耐震性	建築基準法の1.25倍の地震力にて設計。	4.0	0.80	-	-		4.0	
2 1 2 免震・制振性能		3.0	0.20	-	-		3.0	
2.2 部品・部材の耐用年数		4.0	0.33	-	-			
2 2 1 外壁仕上げ材の補修必要間隔	補修間隔30年	5.0	0.29	-	-		5.0	
2 2 2 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	補修間隔11年以上	4.0	0.12	-	-		4.0	
2 2 3 配管・配線材の更新必要間隔	補助資料の建築物構成耐用年数表の建築学会により20年	4.0	0.29	-	-		4.0	
2 2 4 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.29	-	-		3.0	
2.3 信頼性		3.6	0.19	-	-			
2 3 1 空調・換気設備		3.0	0.20	-	-		3.0	
2 3 2 給排水・衛生設備	節水器具の採用。井水利用が可能。	4.0	0.20	-	-		4.0	
2 3 3 電気設備		3.0	0.20	-	-		3.0	
2 3 4 機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-		3.0	
2 3 5 通信・情報設備	光・メタル・携帯電話の通信設備の多様化を図っている	5.0	0.20	-	-		5.0	

3 対応性・更新性			3.5	0.29	-	-	3.5
3.1 空間のゆとり			4.2	0.31	-	-	
1 階高のゆとり		階高3.9m以上。	5.0	0.60	3.0	-	
2 空間の形状・自由さ			3.0	0.40	3.0	-	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.31	3.0	-	
3.3 設備の更新性			3.3	0.38	-	-	
1 空調配管の更新性		直天井の部分有	4.0	0.17	-	-	
2 給排水管の更新性		直天井の部分有	4.0	0.17	-	-	
3 電気配線の更新性			3.0	0.11	-	-	
4 通信配線の更新性			3.0	0.11	-	-	
5 設備機器の更新性			3.0	0.22	-	-	
6 バックアップスペース			3.0	0.22	-	-	
Q-3 室外環境 (敷地内)				0.30	-	-	4.0
1 生物環境の保全と創出			3.0	0.30	-	-	3.0
2 まちなみ・景観への配慮		周囲の建物と同系色・仕上材を使用し、地形と馴染む外観とする。	5.0	0.40	-	-	5.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.5	0.30	-	-	3.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		集会所やバリアフリー対策により快適性に配慮	4.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性				-	-	-	3.7
LR-1 エネルギー				0.40	-	-	4.1
1 建物の熱負荷抑制		PAL値=233.3 (-27%)	5.0	0.43	-	-	5.0
2 自然エネルギー利用			4.0	0.29	-	-	4.0
2.1 自然エネルギーの直接利用		光庭があり、開閉可能な窓を設置。	5.0	0.50	-	-	
2.2 自然エネルギーの変換利用			3.0	0.50	-	-	
3 設備システムの高効率化				-	-	-	-
4 効率的運用			3.0	0.29	-	-	3.0
4.1 モニタリング			3.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制			3.0	0.50	-	-	
LR-2 資源・マテリアル				0.30	-	-	3.1
1 水資源保護			3.8	0.15	-	-	3.8
1.1 節水		節水コマの設置、振音装置の設置。	4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水再利用			3.7	0.60	-	-	
1 雨水利用システム		屋外散水として利用	4.0	0.67	-	-	
2 雑排水利用システム			3.0	0.33	-	-	
2 低環境負荷材			3.0	0.85	-	-	3.0
2.1 資源の再利用効率			2.3	0.35	-	-	
1 躯体材料の再利用効率			3.0	0.67	-	-	
2 非構造材料の再利用効率			1.0	0.33	-	-	
2.2 持続可能な森林から産出された木材			3.0	0.04	-	-	
2.3 健康被害のおそれが少ない材料		指定化学物質を含まない材料を6種類使用	4.0	0.08	-	-	
2.4 既存建築躯体などの再利用			3.0	0.18	-	-	
2.5 部材の再利用可能性			3.0	0.18	-	-	
2.6 フロン・ハロンの回避			4.0	0.18	-	-	
1 消火剤		ハロン消火剤なし	4.0	0.33	-	-	
2 断熱材		ウレタン変性イソシアヌレートフォームを使用	5.0	0.33	-	-	
3 冷媒			3.0	0.33	-	-	
LR-3 敷地外環境				0.30	-	-	3.7
1 大気汚染防止			3.0	0.15	-	-	3.0
2 騒音・振動・悪臭の防止			4.0	0.15	-	-	4.0
2.1 騒音・振動		低騒音機器の採用、PAC屋外機スペースに目隠し壁を設	5.0	0.50	-	-	
2.2 悪臭			3.0	0.50	-	-	
3 風害、日照障害の抑制		建物高さを抑え、風害・日照障害に配慮	4.0	0.15	-	-	4.0
4 光害の抑制		広告物の夜間照明がない	5.0	0.10	-	-	5.0
5 温熱環境悪化の改善			3.0	0.30	-	-	3.0
6 地域インフラへの負荷抑制		荷捌きスペース、ごみ置き場をゆとりと確保。	4.0	0.15	-	-	4.0

5.0	3.0
3.0	3.0
3.0	3.0

4.0
4.0
3.0
3.0
3.0

3.0
5.0

4.0
3.0

3.7

5.0
5.0
3.0

-

3.0
3.0

4.0
4.0
3.0

3.0

3.0
1.0
3.0
4.0
3.0
3.0

4.0
5.0
3.0

3.0

5.0
3.0
4.0
5.0
3.0
4.0

■ LR-1 用途別得点表		学校	-	-	-	面積按分 総合スコア
		4794 m ²	-	-	-	
1 建物の熱負荷抑制		5.0	-	-	-	5.0
3 設備システムのERRによる評価		データ未入力	-	-	-	0.0
高効率化 個別設備による評価		-	-	-	-	
3.1 空調設備		4.0	-	-	-	-
3.2 換気設備		4.0	-	-	-	-
3.3 照明設備		5.0	-	-	-	-
3.4 給湯設備		CECHW値未入力	-	-	-	-
3.5 昇降機設備		-	-	-	-	-